主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第9回 研究発表会

日 時：2017年11月5日（日）
午後2：00開演（1：30開場）
会 場：東京藝術大学5－109大講義室

嘉村 真衣 Mai KAMURA

長崎県出身。国立音楽大学音楽学部音楽教育学科音楽教育専攻首席卒業。同時に岡本賞受賞、及びコレペティートルコース修了。

同大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻（ソルフェージュ）修了。在学中、フォルマシオン・ミュジカルに出会い、教材を研究したり、課題を作成したりして、音楽大学のソルフェージュの授業に生かすための研究に取り組んだ。

現在、東京都公立小学校にて音楽科の教鞭をとり、児童の音楽力の育成に励んでいる。

◆音楽大学におけるフォルマシオン・ミュジカルのための教材と授業実践に関する研究
～交響作品を例として～

視唱や聴音といった要素に加え、理論や分析、音楽史などの知識も同時に習得させる総合訓練を行い、多角的な視点で音楽活動に取り組ませる活動として、フランスにおいて1978年に教育機関に導入された、フォルマシオン・ミュジカルを取り上げ、実作品を使用したソルフェージュ教育の研究を致しました。論文執筆にあたり、教材と学習指導案を作成し、模擬授業を行いました。本発表会では、フランスと日本で出版されている教材の特徴、教育方法の提案として自作教材の例示と、音楽大学の学生を対象とした模擬授業の内容と結果を中心に発表致します。

柳川 瑞季 Mizuki YANAGAWA

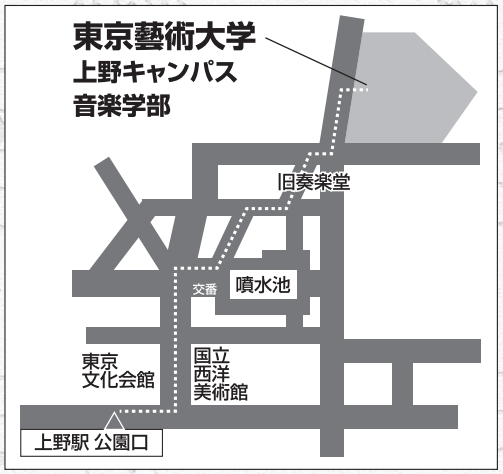
東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学大学院音楽研究科音楽文化学ソルフェージュ研究分野（ピアノ）修了。

これまでにソルフェージュを照屋正樹、テシュネ・ローランの各氏に、作曲を久行敏彦、佐藤眞の各氏に、ピアノを佐藤俊、青柳晋の各氏に師事。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。

◆スクリャービンの≪前奏曲≫による フォルマシオン・ミュジカル教育法

現在ソルフェージュ教材は用途別に様々な種類のものが出版されているが、それらを用いて学習しても音楽的な演奏になかなか結びつかない学習者が存在する。その要因として、教材から音楽性を感じ取ることが出来ず、実際の楽曲と修得した要素が切り離されてしまい、ソルフェージュ能力と専門実技を結びつけられていないことにあると推測した。本研究ではスクリャービンの≪前奏曲≫を用いて教案を作成し、実際に音楽大学の授業内で用いた検証結果を述べる。

▼入場料無料

なお、正会員以外の方は以下の経費負担をお願い致します。
一般1,000円、学生500円、賛助会員(個人)500円

▼問い合わせ先：
日本ソルフェージュ研究協議会事務局
Tel. 090-5566-8567
E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp
http://www.ni-sol-ken.com/index.html